CITIZEN



年間プログラムタイマ 水晶式親時計



(第1版)

シチズンTIC株式会社

もくじ

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1	
本装置または機器に関する安全上の注意 ・・・・・・・・・P.2	
製品の特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.3	
各種ボタンの機能説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.4	
液晶モニタの表示説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・P.5	
システム概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.6	
扉の開け方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.7	
電源投入 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
日付、時計の合わせ方 ・・・・・・・・・・・・・・・P.9~16	
サマータイムの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・P.17~19	
電波による自動時刻修正	
1. ラジオコントロールの取扱い・・・・・・・・・・P.21 ~ 22	
2. 長波受信の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・P.23 ~ 25	
内蔵電子チャイムについて ・・・・・・・・・・・・・・P.26 ~ 28	
プログラムタイマの種類と機能 ・・・・・・・・・・・・・P.29	
プログラムタイマの回路について ・・・・・・・・・・・P.30	
設定内容の表示概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・P.31	
種別選択の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.32	
No. プログラムの設定	
1. 報時プログラム ・・・・・・・・・・・・・・・・P.33 ~ 49	
2.チャイムプログラム ・・・・・・・・・・・・・・P.50~66	
3.タイマプログラム ・・・・・・・・・・・・・・・P.67~82	
4. 繰返しプログラム ・・・・・・・・・・・・・・・P.83 ~ 90	
プログラム残量表示・・・・・・・・・・・・・・・・・P.91	
今日のプログラムの確認 ・・・・・・・・・・・・・・・P.92	

子時計信号 (3	0 秒有極信号)	の信号	區の変更	更・・	•••	•	•••	• P.93
プログラムメ	モリ用バックア	ップ電泳	也 ··	•••	•••	•	•••	• P.93
1秒子時計の	設定(オプショ	ン)基材	反関連の	の説明	•••	•	• •	• P.94
デジタル信号	出力(オプショ	ン)・・	• • •		•••	•	•••	• P.94
外部同期方式	(オプション)		•••	•••	•••	•	•••	• P.95
停電時の動作	と停電復帰後の	動作・	•••		•••	•	•••	• P.96
電池の適正な	交換 · · · ·		•••	•••	•••	•	•••	• P.97
故障かなと思	ったら・・・		• • •	•••	•••	•	•••	• P.98
取付、配線工業	事上の注意・		• • •		•••	•	•••	• P.99 ~ 103
PT-61T シリ-	ーズ仕様 ・・・	• • •			• •	•		• P.104

はじめに

このたびは、弊社の親時計をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は親時計の機能、操作方法、取扱上の注意などについて説明したものです。 よくお読みいただき、機能を十分活用してお使い下さい。

設置されている製品の型式名を確認し、下記型式名と照合してください。 型式により付属機能が異なります。



●パネル型



本装置または機器に関する安全上の注意

本装置を正しく安全にご使用いただくために、使用前に必ず本装置、機器に関する安全上の注意および取 扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。 また、ご使用後も大切に保管してください。

警告 取扱者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがあります。 ●制御基板および回路部分に触れないでください。感電、故障および誤動作の原因になります。 ●親時計の扉を開けるときは、扉に付いているステーをしっかりと固定してください。 固定が不十分ですと扉が急に落ちて顔や手を傷つける恐れがあります。 ●濡れた手で操作をしないでください。感電する恐れがあります。 ●機器は一般の方など、本製品の設定・操作の知識が マテ ない方に操作をさせないでください。



製品の特徴

PT-61T シリーズ親時計は、マイクロコンピュータを使用した高精度の水晶式親時計です。また、時計機能の他にプログラムタイマ機能を搭載し、接続された機器を最大8台(8回路分)制御できます。

時計機能

- ■各回線ごとに最大 30 台 (1 台 12mA) の子時計を接続できます。
- ■サマータイムの時刻修正を自動で行うことができます。
- ■標準電波(長波標準電波)を1日2回受信して、時計の誤差を自動で修正します。(長波受信付)
- ■時報音 (FM 放送または TV 放送の時報)を1日2回受信して、時計の誤差を自動で修正します。 (ラジオコントロール付)
- ■うるう年は、自動で補正されます。
- 30 時間以内の停電では、電池バックアップにより、時計信号は停止することなく出力されます。
- 30 時間以上に及ぶ停電の場合、時計信号は停止しますが、20 日以内の停電であれば停電復帰後、自動的に時刻修正を行います。

プログラムタイマ機能

- PC(パーソナルコンピュータ)でプログラム設定ができ、PC カードで親時計にプログラムが書き込めます。また、PC(パーソナルコンピュータを)を使わなくても親時計のジョグダイヤルでプログラム設定ができます。
- ■制御回路は8回路あり、様々な機器をプログラム設定により自動で動作させることができます。
- ■普段実行する週間プログラムの他に、年間プログラムで特殊な時刻パターンで実行する日の設定ができます。
- ■チャイムプログラムで任意の時刻に電子チャイムを鳴らすことができます。(電子チャイム付) チャイムは内蔵された7曲の中から選択し、どの回路でも設定ができます。
- ■年間プログラムには、設定したプログラムを毎年および指定した年だけ実行する年間モード特殊プログラムがあります。

各種ボタンの機能説明



①主モニタ	本製品の時刻 電源投入時に時間を合わせる
②子時計回線モニタ	製品から接続している子時計の時刻
③把手	扉の開閉用
④コントラスト調整	液晶の文字の濃さを調整
⑤液晶モニタ	現在時刻の表示、各設定の確認、修正時にはその情報を表示
⑥ジョグダイヤル	設定時、修正時などで選択するのに使用
⑦決定ボタン	ジョグダイヤルで選択したものを確定
⑧取消ボタン	設定の取消 画面、操作を1つ前に戻す
⑨全回線スイッチ	主モニタ、子時計回線モニタの操作
⑩電源ランプ	電源が入っていると緑色に点灯
①回路プログラム設定ボタン	各回路のデータの呼び出し 設定、修正、確認ができる
12回路出力操作スイッチ	各回線の操作
13出力モニタ	現在実行されている回線が赤点灯
⑭記入ラベル	回路登録要項の記入ラベル

液晶モニタの表示説明

液晶モニタ(P.4の⑥の詳細)



- プログラム設定画面 No.1タイマ 特殊プログラム 年間プログラム 週間全消去 ↓ ← h
- a: 年、月、日、曜日を表示します。
- b: 時、分、秒を表示します。
- c: 電池アイコン
 停電してバッテリーで駆動していると
 きに点灯します。
- d: 太陽アイコン ☆ サマータイム移行中−点滅 サマータイム期間中−点灯
- e: アンテナアイコン 平 受信中に点灯します。 (FM、長波、GPS 共通)
- f: 子時計アイコン ⊗ 子時計の調針をしているときに点滅し ます。

- g: 倉上に項目があることを示します。
- h: ↓下に項目があることを示します。

システム概要



- ①子時計回線ユニット
- ② 電源ユニット
- ③ PT/LU接続コネクタ
- ④ 入線孔
- ⑤ 電子チャイムユニット
- ⑥ 電波修正(ラジオコントロール付ユニット または、長波受信機付ユニット)
- ⑦電池箱
- ⑧ 子時計信号入力端子
- ⑨ 子時計回線出力端子
- ⑩ 報時信号出力端子
- ① 外部時計入力端子/ ⑦ デジタル信号出力端子
- ⑩ AC100V入力端子
- (13) アース端子



扉の開け方



把手に手をかけて手前に引きます。



ローラーキャッチ l から外します。 ステーによりしっかり固定します。

電源投入



●「AC 電源スイッチ」と「DC 電源スイッチ」を" 接" にします。電源が投入されます。 「AC 電源スイッチ」の右側の「LED モニタ」が赤く点灯します。 「AC 電源」が" 接" の時は「AC 電源モニタ」が緑色に点灯します。

●液晶モニタが親時計設定表示となり、日付と時計を合わせられます。 初期設定では、2004年1月1日12時00分00秒です。

年→月→日→時→分→秒の順にジョグダイヤルと 「決定」ボタンで設定します。 日付、時計の設定方法については、P.9 ~ 16 を参照 してください。
 液晶モニタ

 親時計設定

 2004年1月1日

 12時00分00秒

設定後、時計表示画面になります。 また、設定せず長時間放置しておいても、時計表示画面にな ります。



時計表示画面

※電波修正 (ラジオコントロール付、長波受信機付) は自動修正できます。詳細は、P21 ~ 26 を参照して ください。

日付・時計の合わせ方



全回線スイッチ

設定概要

- **1. 各アナログ時計の設定** 詳細は P.10 子時計と主モニタと回線モニタをすべて同じ時間に合わせておきます。
- 2. デジタル親時計の設定 詳細は P.11

液晶モニタの時刻を現在時刻に合わせます。

3. 各アナログ時計を親時計に合わせる 詳細は P.12 ~ 16 親時計である液晶モニタの時刻にすべてのアナログ時計の時刻を合わせます。



全回線スイッチ

1. 全回線スイッチと子時計出力操作スイッチを "断"にします。 「 🛇 」が点滅します。



2. すべての回線モニタと各回線に接続されている子時計、および主モニタの時刻を合わせます。 各時計の裏面の時分調針ツマミで、時間を合わせる。例)ここではすべて10時に設定します。



回線モニタの裏面

2. デジタル親時計の設定

 \otimes



3. 各アナログ時計を親時計に合わせる

合わせる方法には3つあります





全回線スイッチ

アナログ時計が一斉に動き出します。現在の親時計が示す時間まで針が自動的に動きます。 ※正方向にしか針は進みませんので、なるべく現在時刻より少し前にアナログ時計の針を合わせてお くと早く時刻を合わせることができます。



全回線スイッチ

現在の親時計の時刻になると針が自動的に止まります。親時計の時刻は調針中も進んでいますが、進ん だ正確な時刻に合うようになっています。

「 ⊘」も消灯し、時刻修正が完了します。

時計回線 回線異常警報 常断 LED \cap 修正 LU-6× Ô (*) (*) \subset Ц Ð ů PT-61×× 6 •

注1:子時計回線の過負荷検出

子時計信号の送出時に、「回線異常警報 LED」が点灯(赤色) したときは、回線が過負荷(子時計をつなぎすぎているか、 ラインのショート)です。子時計信号は出力されませんの で、回線をチェックして障害を取り除いて再調整します。 注2:子時計一斉調針の強制解除

子時計修正中、または停止中に「取消」ボタンを3秒以上 押すと修正または停止を解除することができます。ただし、 強制解除の操作を行った後は必ず子時計修正を行って下さ い。誤った時刻を表示したり、誤修正の原因になります。



方法 3. 子時計回線ごとに修正

主に、子時計の修理などで子時計回線1つを復旧させる時などに設定する方法です。



回線モニタに接続されている子時計の時刻をすべて同じ時刻に合わせます。 詳細は P.10 を参照してください。





親時計である液晶モニタに時刻が合ったところで、子時 計出力操作スイッチを、"修正"から"常"にします。 各アナログ時計が親時計である液晶モニタに時刻が合い ました。

- 1秒子時計の時刻合わせ(オプション)
- ●1秒子時計回線が1回線の時は「No.1」を、2回線の時は「No.1」と「No.2」を1秒子時計回線とします。
- ●子時計のばらつき調整
 - ■1秒子時計回線に接続されたすべての1秒子時計の時刻がそれぞれの回線モニタの時刻と同じであることを 確認してください。
 - ■1秒子時計の時刻にばらつきがあれば、カバーを外し、ツマミを回して合わせてください。



- ●1秒子時計回線の自動調針
 - P.10 ~ 13 をご参照ください。
- ●1秒子時計回線の手動調針

①1秒子時計回線の秒が0秒の時に1秒子時計回線の「子時計出力操作スイッチ」を"断"にします。
 ②1秒子時計と1秒子時計回線に接続されている子時計の時間を合わせます。





③デジタル時計の時刻と同時刻になったとき「子時計出力操作スイッチ」を"常"にします。



サマータイムの設定

- ●サマータイムの期間を設定することにより、毎年自動的に時刻調整を行うことができます。(初期時は サマータイム設定はされていません。)
- ●サマータイムの期間は、開始日、開始時刻および終了日、終了時刻を対で設定します。また、設定方法 は、4月の第1日曜日といった曜日で指定する「方法1」と、4月1日といった日にちで指定する「方 法2」の2種類の設定が可能です。
- ●サマータイムの設定をすると、開始日の設定時刻に時計を1時間進ませ、終了日の設定時刻には1時間 遅らせる処理を自動で行います。

サマータイム開始日の動き 例)4月2日 AM2:00に設定した場合

通常日	0:00 → 1:00 → 2:00 → 3:00
サマータイム開始日	デジタル 時計 1:00→3:00→4:00
4月2日	アナログ 時計 1:00→3:00→4:00
※2:00に1時間進ま	ませます 1:59 → 3:00 - 1 時間早送

サマータイム終了日の動き 例)10月29日 AM3:00に設定した場合

и силания				
通常日	1:00 ➡	2:00 🌩 3:	00 🜩 4:0	00 🜩 5:00
サマータイム終了日	デジタル 時計	2:00 → 2:	00 🜩 3:(00 → 4:00
10月29日	アナログ 時計	2:00 → 3:	00 ➡ 3:0	00 ➡ 4:00
※3:00に1時間停止	します 2:59 ⊣	▶2:00	↓ _1	時間停止

●サマータイム時の表示



サマータイム移行中	「☆」が点滅します。
サマータイム期間中	「艹」が点灯します。

方法1(曜日での設定)



ジョグダイヤルで「環境設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。

ジョグダイヤルで「サマータイム」を選択し、「決定」ボタンを押します。

ジョグダイヤルで「曜日」、「日付」、「しない」の設定を選択します。 ここでは「曜日」を選択し、「決定」ボタンを押します。 ※初期設定値として開始4月第1日曜2時、終了10月最終日曜3時 に実施期間を設定しています。

最初に、サマータイム「開始月」が点滅します。ジョグダイヤルで設定し、 「決定」ボタンを押します。下記表の順番で設定ができます。

	lici 🐺	乳宁午田	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	唄 笛		注息争归
1	開始月	1~12	開始月1月~12月
2 開始日		\$\$○ < ⊞□	○は、開始月の何週目か設定
	用炉口		△は、○週目の何曜日か設定
3	開始時	0~23	開始時間 0時~23時
4	終了月	1~12	終了月 1月~12月
5	ぬマロ	笠□∨ᄜ□	□は、開始月の何週目か設定
り一於」ロ		◇」ロ	×は、□週目の何曜日か設定
6	終了時	0~23	終了時間 0時~23時

同じように、「サマータイム終了時間」まで設定ができたら「決定」ボタン を押します。設定の完了を示す、ブザー音が鳴ります。

現在時刻画面に戻ります。 サマータイム期間中であれば「☆」が点灯します。 方法2(日付での設定)



□サマータイムを設定しない

サマータイム設定 実施<mark>しない</mark>

「実施しない」を選択するとサマータイムを設定しません。

電波による自動時刻修正

製品の仕様により、電波修正付(ラジオコントロール付、長波受信機付)については、自動で時刻修正を行います。

ラジオコントロール・・・FM 放送または TV(VHF チャンネル) 放送を受信して、1日2回、時報音をパ ルス信号として抽出し、親時計の誤差を修正します。

長 波・・・・・独立行政法人情報通信研究機構が送信する正確な時刻やカレンダー情報を載せ た標準電波を受信して、1日2回、日本標準時に修正します。

1. 電波修正 (ラジオコントロール付)の取扱い

- FM 放送または TV(VHF チャンネル) 放送を受信して、1日2回、時報音をパルス信号として抽出し、 親時計の誤差を修正します。
- ●誤差の修正は、7時と19時に行われ(時刻は変更可能)、修正時刻の35秒前に電源が投入されます。 修正の範囲は正時に対して±30秒です。時報が入力されるとその時点でラジオの電源が切れ、親時計の修正が開始されます。
- ●時報音を受信して、修正が行われたかどうかは時報確認用 LED で確認できます。時報確認用 LED は、 時報入力時および時報入力後の1回目の電源投入時に点灯します。

1. 操作手順



モニタが時刻表示の時「決定」ボタンを押します。

メインメニューが表示されます。 ジョグダイヤルで「環境設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。



 ● ○
 ★
 ★
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■
 ■



ジョグダイヤルで「電波修正」を選択し、「決定」ボタンを押します。

ジョグダイヤルで、種類:「長波/GPS」、「FM/TV」、「なし」から選択し、ここでは、「FM/TV」を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定して「決定」ボタンを押すと、受信時間が設定できます。初期値では7時、 19時に設定されていますが、違う時間に設定できます。

受信状態を確認したい場合は" すぐに受信する " を選択し、「 決定」ボタンを 押すと、設定の完了を示すブザー音が鳴ります。

時刻合わせ設定画面に戻ります。受信時には「平」が点灯し、受信状態となります。1分以内に時報入力があればその時点でラジオの電源が切れ、親時計の誤差を修正します。受信が完了すると「平」が消灯します。

2. 時報音放送による自動修正



ラジオコントロールでの修正範囲は正時に対して±30秒です。

- ◆受信時刻が、液晶モニタの時間より進んでいる場合 液晶モニタの秒が止まり時刻を合わせます。
- ◆受信時刻が、液晶モニタの時間より遅れている場合 受信時刻まで液晶モニタの秒を早送りして時刻を合わせます。

修正が終わるとブザー音がなり、「 平」が消灯します。

■受信中に受信を中断したい場合 「取消」ボタンを約3秒間押し続けます。受信が中断されます。

2. ラジオコントロールの調整

●外部アンテナ(または分配器)に確実に接続されているかを確認のうえ、次の要領で調整します。



2-1.FM 放送を使用する場合

モード設定用ロータリースイッチを「0」に合わせて FM 放送を選択します。 次に受信状態の良好な最寄りの NHK-FM 放送局の周波数を選局用ロータリースイッチで設定します。

(例) NHK-FM[東京]、周波数82.5MHz



NHK-FM主要放送局 周波数一覧表(電力1kW以上)

局 名	周波数MHz	局名	周波数MHz	局 名	周波数MHz	局 名	周波数MHz
札幌	85.2	前橋	81.6	福井	83.4	広島	88.3
青森	86.0	浦和	85.1	岐阜	83.6	徳島	83.4
盛岡	83.1	千葉	80.7	静岡	88.8	高松	86.0
仙台	82.5	東京	82.5	名古屋	82.5	松山	87.7
秋田	86.7	横浜	81.9	津	81.8	福岡	84.8
山形	82.1	新潟	82.3	大津	84.0	熊本	85.4
福島	85.3	甲府	85.6	京都	82.8	大分	88.9
水戸	83.2	富山	81.5	大阪	88.1	鹿児島	85.6
宇都宮	80.3	金沢	82.2	岡山	88.7	沖縄	88.1

2-2.TV 放送を使用する場合

モード設定用ロータリースイッチを「2」に合わせて TV 放送を選択します。

次に NHK 教育テレビのチャンネルを選局用ロータリースイッチで設定します。

※ TV 放送を受信する場合は、電波修正時刻 2 回のうちどちらかを "12:00" に設定してください。

FM 放送、TV 放送の受信状況の確認

- ■モニタスピーカスイッチを "ON" にして、P.20 電波修正の設定メニューですぐに受信するを選 択すると受信状態を確認できます。 放送が聞き取りにくい場合は、モニタスピーカ音量ボリュームで音量の調整ができます。 受信状態が悪いときは、他の周波数またはチャンネルを選択してください。 電源 "ON" 中に設定を変更したい場合は「リセット」ボタンを押してください。再設定を行います。
- ■確認または調整終了後はモニタスピーカスイッチを "OFF" に戻してください。 時報の放送中に音楽が流れていたり、正報1回だけの時報の場合は時刻修正は行われません。

■受信中に受信を中断したい場合

「取消」ボタンを約3秒間押し続けます。受信が中断されます。

2. 電波修正 (長波受信機付)の取扱い

●独立行政法人情報通信研究機構が送信する正確な時刻やカレンダー情報を載せた標準電波を受信して、 1日2回、日本標準時に修正します。受信機は、福島局 (40kHz) と九州局 (60kHz) の2局から発信 されている電波から受信できる局を自動選択し受信します。

●誤差の修正は、2時と3時(時刻変更可能)に行われます。設定時刻の5分前に電源が投入されます。
 ●電源投入時は、すぐに標準電波を受信する設定ができ、受信を選択するとすぐに受信します。

●電波の受信状況は、受信モニタ LED で確認できます。受信モニタ LED は修正装置の電源投入してい る間点滅します。

1. 操作手順



2. 標準電波による自動修正



■受信中に受信を中断したい場合 「取消」ボタンを約3秒間押し続けます。受信が中断されます。

3. 受信状況の確認



電波修正(長波)アンテナに確実に接続されているか確認のうえ、次の要領で確認をします。

受信モニタ LED

赤色点灯 長波アンテナが正しく接続されていません。接続を確認してください。

赤色点滅 福島局を受信中です。

橙色点滅九州局を受信中です。

緑色点滅受信が比較的良好です。

受信 LED

赤色点滅 受信状況がよくありません。

緑色点滅受信状況が比較的良好です。

※2~3分程度経過しても緑色の点滅に変わらないときは、アンテナの向いている方向を変えてくだ さい。昼間受信できない場合でも、周辺ノイズが少なくなる夜中に受信できる場合があります。

4. アンテナの設置場所

アンテナは、基本的に見通しのよい屋外に設置してください。屋内では電波が弱まるため受信できない 場合があります。

●設置前の受信環境の確認

電波修正装置は、AM ラジオと同様の電波を受信するため、電波を妨害するノイズを 発生する付近では受信障害が起きる場合があります。

- ●アンテナの設置環境が以下の場合には、設置前に受信環境を確認してください。 ・蛍光灯、テレビ、パソコン、FAX、コピー機など家電機器や OA 機器の付近
 - ・高圧線、電波塔、鉄道の架線、工場、ネオンや照明の多い繁華街
 - ・空港、軍事基地、工事現場など受信障害の発生する場所
 - ・金属製の看板やビルなどに囲まれた場所
- ●アンテナの調整 アンテナの "CITIZEN" マークの面またはその裏側をお近くの標準 電波送信所の方向に向けてビスで固定します。
- 吉 y る > 1 人 を ください。 器の付近 アンテナ アンテナ アンテナ
- 電波送信所の方向に向りてヒスで固定します。 注意:標準電波(長波標準電波)は、送信所設備の定期点検や落雷・積雪などにより停波することがあり
 - ます。停波についての情報は、独立行政法人情報通信研究機構のホームページをご覧ください。 (ホームページ : http://jjy.crl.go.jp/)

内蔵電子チャイムについて

● FM 音源を採用したカスタム・メロディー LSI を内蔵した電子チャイムで、チャイム曲目は最大7曲です。

●設定時刻ごとに指定された曲を演奏します。また、内蔵スピーカーで曲の確認もできます。

●チャイムの自動演奏

「チャイム」プログラムで設定した時刻に、指定された曲目を自動的に演奏します。

曲番号	曲目	秒数
1	ウエストミンスター寺院の鐘	24秒
2	ホイッティングトン寺院の鐘	32秒
3	王の行進	39秒
4	- 銀 波	54秒
5	田園	39秒
6	ふるさと	33秒
7	家路	77秒

●チャイムの手動演奏

プログラム 設 定

8つの回路のうち「チャイム」プログラムを設定している回路についてのみ手動演奏が可能です。

0

PROGRAM TIMER

04年 6月18日(金)

10:08.15

3 4 5

0000000

回線出力操作スイッチを「手動」にすると、指定したチャイム が鳴り始めます。

※チャイムの初期設定は曲目1です。曲目を変更したい 場合は、手動演奏曲目を変更することも可能です。 詳細は、P.27 を参照してください。



チャイムを鳴らすのをやめる場合は、「手動」から「断」にします。

●チャイムの手動演奏曲目の変更 曲目を変更する回路にチャイムプログラムの設定が必要です。



●内蔵スピーカーでチャイム音のテスト確認

- ・チャイムプログラムの設定をしている時は、チャイムの手動演奏の操作 (P.27) で確認できます。
- ・始動調整時のようにまだプログラム設定を行っていない時は、回路1の出力操作スイッチを"手動"に することにより、曲目1「ウエストミンスター寺院の鐘」を演奏することができます。 ※回路1にチャイムプログラム以外のプログラムを設定した場合は演奏されません。
- ・演奏を終了する場合は、出力操作スイッチを「手動」から「自動」に戻します。
- ・内蔵スピーカーで確認したい場合は、内蔵スピーカーでチャイム音のテスト確認 (P.28) を参照してください。



①モニタスピーカスイッチ
 ②チャイムテスト起動スイッチ

スピーカが鳴るようにします。

押すとチャイムが起動して、モニタスピーカから指定された 曲が流れます。

③モニタスピーカ音量ボリューム④チャイムテスト選曲ロータリー

⑤チャイム出力ボリューム

モニタスピーカの音量を調整します。 チャイムの曲目1〜曲目7のどの曲を出力するか設定します。 「0」、「8」、「9」は使用しません。

チャイム音量を調整します。右に回すと大きくなり、左に回

すと小さくなります。

操作手順

- 1. モニタスピーカスイッチを「ON」にします。
- 2. チャイムテスト選曲ロータリーで曲目を選曲します。
- 3. チャイムテスト起動スイッチを押します。モニタスピーカから指定された曲が流れます。
- 4. モニタスピーカスイッチを「OFF」にして終了です。

●その他の機能

⑥ラジオ用音量ボリューム (チャイムとラジオが両方ついている場合)

出荷時に最良の音量に調整してありますが、スピーカで放送を聞き取りにくい場合は、VR3 ラジオ 用音量ボリュームを調整します。右に回すと音が大きくなり、左に回すと小さくなります。

⑦演奏回数 チャイムの演奏回数を「1回」、「2回」から選択できます。出荷時は「1回」に設定され ています。

⑧選曲設定 外部か内部か設定できますが、必ず外部に設定します。

プログラムタイマの種類と機能

1. 週間プログラム

a)報時プログラム

設定した曜日と時刻に報時信号(起動信号)を出力するプログラムです。校内放送やサイレンなどの運転に 使用できます。

b)チャイムプログラム

設定した曜日と時刻に内蔵電子チャイムを鳴らすプログラムです。チャイム用のアンプのチャイム起動時 間で指定した時間より前から設定時刻まで報時出力部に出力します。開始時刻は秒単位で設定できます。

c)タイマプログラム

空調機や外灯などの装置をある一定の時間だけ動作させたい場合に使用します。 1日の中で ON/OFF を設定したり曜日をまたがって設定したりすることもできます。

d)繰返しプログラム

ー定周期で繰り返し報時信号を出力したい場合に使用します。繰返しプログラムは開始時刻から終了時刻 の間、設定した時間間隔で指定した時間繰り返し出力できます。

2. 特殊プログラム

通常は「週間プログラム」が実行されますが、ある特別な日は「週間プログラム」とは違ったスケジュールで 機器を制御したいときに使用します。年間プログラムを入力する前に設定しておく必要があります。

- a)特殊報時プログラム 年間プログラムで使用するための報時プログラム。設定範囲は1日です。
- b)特殊チャイムプログラム 年間プログラムで使用するためのチャイムプログラム。設定範囲は1日です。

c)特殊タイマプログラム

年間プログラムで使用するためのタイマプログラム。設定範囲は1日です。

3. 年間プログラム

「特殊報時プログラム」、「特殊チャイムプログラム」、「特殊タイマプログラム」で設定したプログラムを年間 のカレンダーの中のいつ実行するのかを設定します。「繰返しプログラム」では設定できません。 年の指定方法は「西暦 (2 桁)」を指定してその年だけ実行するものと、「毎年」を指定して、特に消去されな い限り毎年実行されるものとがあります。

チャイムテスト演奏

回路1においてプログラム設定を何もしないときに、スイッチを手動に倒すと設定している曲目(曲目1)を 出力します。プログラムを設定した場合は出力しません。ただし、チャイムプログラムを選択した場合は手動チャ イム曲目を出力します。

プログラムタイマの回路について

このプログラムタイマには出力回路が8個あります。

1つの回路で1つの装置を制御できます。つまり、このプログラムタイマでは最大8つの装置を制御する ことができます。



設定内容の表示概要



種別選択の設定

プログラムの種類には、「報時」、「チャイム」、「タイマ」、「繰返し」の4種類があります。 同じ回路のプログラムは、同じ種類のもの以外は設定できません。 回路にプログラムを設定するには、まずプログラムの種類を決めます。



プログラム 設定

各回路の「回路プログラム設定」ボタンを押します。

※その回路にプログラムが入っている場合は、下記の表示画面は表示されません。



No.□プログラムの設定

1. 報時プログラム

P.32 で示した種別選択で「報時」を選択したものについての設定説明を行います。

- ●「報時プログラム」は、毎週決まった時刻に報時信号を出力させたい時に使用します。
- ●サイレンや校内放送などの起動信号として使用します。
 ■吹鳴時間は、回路ごとに1種類のみ設定できます。
 - ■同一回路の中では「チャイムプログラム」、「タイマプログラム」、「繰返しプログラム」との複合 指定はできません。



報時メニューの表示

No.□チャイム	プログラム設定
週間プログラム	P.34~38 「報時」を設定した「回路プログラム設定」ボタンを押します。
特殊プログラム	P.39~44 () 液晶画面に各項目が表示されます。
年間プログラム	P.45~46
回路全消去	P.47
週間全消去	P.47 「週間全消去」、「年間全消去」、「年間指定全消去」については、「週
年間全消去	P.48 間プログラム」、「特殊プログラム」、「年間プログラム」を設定しな
年指定全消去	P.48 ければ表示されません。
出力時間設定	P.49
プログラム残量数表示	P.91
1.週間プログラム

1-1.曜日指定での設定



1-2.「毎日」「平日」の設定



1-3. 他曜日からコピーして設定



「 報時 」 が設定されている回路プログラム設定ボタンを押します。 「 週間プログラム 」 を選択します。例) 回路 l は報時プログラムとします。

曜日を選択し、決定ボタンを押します。例)「月曜日」を選択

月曜日に何もプログラムが設定されていない状態で、他の曜日にプログラムが 設定されている場合は、「他曜日からコピー」が表示されます。「他曜日から コピー」は、他の曜日に設定されているプログラムすべてを月曜日のプログラ ムとしてコピーします。

すでにプログラムが設定されている曜日が表示されます。コピー元となる曜日 を選択します。選択して「決定」ボタンを押すと完了を示すブザー音が鳴りま す。

ここでは「火曜日」を選択します。「火曜日」のプログラム 6:00、12:00

「火曜日」のプログラムがすべて「月曜日」に設定されました。

終了する場合は、「完了」を選択するか「取消」ボタンを押していくと現在時 刻表示画面に戻ります。 1-4. 設定したプログラムの修正



36

1-5. 設定したプログラムの消去



1-6. 各曜日の全消去



2. 特殊プログラム

2-1. 特殊プログラムの設定 (新規に時刻を設定するとき)



2-2. 特殊プログラムの設定(他の特殊プログラムをコピーする)



2-3. 特殊プログラムの設定(他の週間プログラムをコピーする)



2-4. 特殊プログラムを修正



2-5. 設定したプログラムの消去



2-6. 特殊プログラムの全消去



3. 年間プログラム

3-1. 設定と修正



3-2. 設定の確認





選択した回路の週間プログラムをすべて消去します。



6. 年間全消去 選択した回路の年間プログラムをすべて消去します。



8. 出力時間設定



2. チャイムプログラム

P.32 で示した種別選択で「チャイム」を選択したものについての設定説明を行います。

- ●「チャイムプログラム」は、毎週決まった時刻に内蔵電子チャイムを鳴らす時に使用します。
 - ■内蔵電子チャイムは、曲目1~7まで設定できます。曲目については、P.26~27を参照してくだ さい。
 - ■同一回路の中では「報時プログラム」、「タイマプログラム」、「繰返しプログラム」との複合指定 はできません。

■別回路で同一時刻に設定した場合は、回路番号の若い方が優先されます。





チャイムメニューの表示

完了

N o.2週間チャイム 金曜

N o.2週間チャイム 金曜

₽

9:00.00 曲1

12:00.10 曲3

時刻追加

12:00.10 曲3

N o.□チャイム		7ロクラム設定
週間プログラム	P.51~55	; 「チャイム」を設定した「回路プログラム呼出」ボタンを押します。
特殊プログラム	P.56~61	液晶画面に各項目が表示されます。
年間プログラム	P.62~63	
回路全消去	P.64	
週間全消去	P.64	
年間全消去	P.65	
年指定全消去	P.65	「週間全消去」、「年間全消去」、「年間指定全消去」については、「週間プ
チャイム起動時間設定	P.66	ログラム」、「特殊プログラム」、「年間プログラム」を設定しなければ表
手動チャイム曲目変更	P.66	示されません。
プログラム残量数表示	P.91	
1.週間プログラム		
1-1.曜日指定での設	定	
N 0.2チャイム	プログラム	設定

週間プログラム 「チャイム」が設定されている「回路プログラム設定」ボタンを押します。 特殊プログラム 「週間プログラム」を選択します。例)回路2はチャイムプログラムとします。 年間プログラム 「毎」・・・毎日、「平」・・・月~金曜日、「日~土」・・・各曜日 No.2週間チャイム ジョグダイヤルで曜日を選択し、「決定」ボタンを押すと、曜日が選択され 曜日を選択 ます。すでにその曜日にプログラムが設定されていればプログラムが表示 毎平日月火水木<mark>金</mark>土 されます。例)「金曜日」を選択 回路2の週間チャイム、金曜日の設定となります。 No.2週間チャイム 金曜 「時刻追加」新しく週間プログラムを設定します。 時刻追加 「 全消去 」 金曜日に記憶されているプログラムをすべて消去します。 全消去 ここでは、プログラムを設定するため「時刻追加」を選択します。 設定順番 N o.2週間チャイム 金曜 開始時間「時」→「分」→「秒」→「曲目」の順番で設定。最後の「決 9:00.00 曲1 定」ボタンで設定の完了を示すブザー音が鳴ります。 例)金曜日 9:00.00 曲1を設定 N o.2週間チャイム 金曜 設定した週間プログラムが表示されます。 9:00.00 曲1 続けて設定するときは「時刻追加」を選択します。 時刻追加 全消去 ₽

> 続けて設定する場合 開始時間「時」→「分」→「秒」→「曲目」の順番で設定。最後の「決定」 ボタンで設定の完了を示すブザー音が鳴ります。 例)金曜日 12:00.10 曲3を設定

回路2の週間チャイム、金曜日の設定したプログラムが表示されます。 設定を終了する場合は、「完了」を選択するか「取消」ボタンを押していく と現在時刻表示画面に戻ります。

1-2.「毎日」、「平日」の設定



1-3. 他曜日からコピーして設定



「チャイム」が設定されている「回路プログラム設定」ボタンを押します。 「週間プログラム」を選択します。例)回路2はチャイムプログラムとします。

曜日を選択し、決定ボタンを押します。例)「水曜日」を選択

水曜日に何もプログラムが設定されていない状態で、他の曜日にプログラムが設定 されている場合は、「他曜日からコピー」が表示されます。「他曜日からコピー」は、 他の曜日に設定されているプログラムすべてを水曜日のプログラムとしてコピー します。

すでにプログラムが設定されている曜日が表示されます。コピー元となる曜日を 選択します。選択して「決定」ボタンを押すと完了を示すブザー音が鳴ります。 ここでは「木曜日」を選択します。 例)「木曜日」のプログラム 8:00.00 曲目 2、19:00.20 曲目 1

「木曜日」のプログラムがすべて「水曜日」に設定されました。

終了する場合は、「完了」を選択、または「取消」ボタンを押していくと、現在 時刻表示画面に戻ります。

1-4. 設定したプログラムの修正



1-5. 設定したプログラムの消去



54

1-6. 各曜日の全消去



2. 特殊プログラム

2-1. 特殊プログラムの設定(新規に時刻を設定するとき)



2-2. 特殊プログラムの設定(他の特殊プログラムをコピーする)



2-3. 特殊プログラムの設定 (他の週間プログラムをコピーする)



2-4. 特殊プログラムを修正



2-5. 設定したプログラムの消去



2-6. 特殊プログラムの全消去



3. 年間プログラム

3-1. 設定と修正



3-2. 設定の確認



4. 回路全消去 選択した回路のプログラムをすべて消去します。



5. 週間全消去 選択した回路の週間プログラムをすべて消去します。





8. チャイム起動時間設定



9. 手動チャイム曲目変更設定



3. タイマプログラム

P.33 で示した種別選択で「タイマ」を選択したものについての設定説明を行います。

●「タイマプログラム」は、ある一定の時間 (ON 時刻~ OFF 時刻まで) だけ空調機や外灯などを動作 させたいときに使用します。

■吹鳴時間は、回路ごとに1種類のみ設定できます。

■同一回路の中では「報時プログラム」「チャイムプログラム」「繰返しプログラム」との複合指定 はできません。

タイマメニューの表示

No.□タイマ	プログラム設定
週間プログラム 特殊プログラム	P.68~72 「タイマ」を設定した回路プログラム設定ボタンを押します。 P.73~77 液晶画面に各項目が表示されます。
年間プログラム	P.78~79
回路全消去	P.80
週間全消去	P.80
年間全消去	 P.81 「週間へ逃ナ 「左間へ逃ナ 「左間北京へ逃ナ についてけ 「週間プ
年指定全消去	- 週間主府去」、「平間主府去」、「平間拍足主府去」については、「週間ノ P.81 ログラム、「特殊プログラム、「年間プログラム、た恐空したければま
終了時刻秒設定	ログラム」、「特殊フログラム」、「年间フログラム」を設定しなければ表 P.82 = ティゎません
プログラム残量数表示	P.91

1.週間プログラム

1-1.曜日指定での設定



68

1-2.「毎日」「平日」の設定



「タイマ」が設定されている「回路プログラム設定」ボタンを押します。 「週間プログラム」を選択します。例)回路3はタイマプログラムとします。

「毎」・・・毎日、「平」・・・月~金曜日、「日~土」・・・各曜日 ジョグダイヤルで「毎」または「平」を選択し、「決定」ボタンを押すと、 「毎日」または「平日」が選択されます。例)「毎日」を選択

設定順番

開始時間「時」→「分」→設定曜日→終了時間「時」→「分」の順番で設定。 最後の「決定」ボタンで設定の完了を示すブザー音が鳴ります。 例)毎日 12:00~15:00を設定

ここで、例えば「月曜」の設定画面で確認してみます。「月曜」を選択し、 「決定」ボタンを押します。

「月曜」を確認してみると、確かに設定した時間が表示されています。同じ ように、「火曜」~「土曜」でも同じプログラムが設定されています。

設定・確認を終了する場合は、「完了」を選択するか「取消」ボタンを押していくと現在時刻表示画面に戻ります。
1-3. 設定したプログラムの修正



70

1-4. 設定したプログラムの消去



1-5. 各曜日の全消去



2. 特殊プログラム

2-1. 特殊プログラムの設定 (新規に時刻を設定するとき)



2-2. 特殊プログラムの設定 (他の特殊プログラムをコピーする)



2-3. 特殊プログラムを修正



2-4. 設定したプログラムの消去



2-5. 特殊プログラムの全消去



3. 年間プログラム

3-1. 設定と修正

3-1. 設定と修正			
N 0.3タイマ	プログラム設定		
週間プログラム	● 「タイマ」が設定:	されている「回路プログラ	っム設定」ボタンを押します。
特殊プログラム	│	」を選択します。	
年間プログラム 🛛 🔱			
N 0.3タイマ]		
 一覧		年間プログラムを確認でき	きます。
設定	'設定」は、年間フロ	グラムを設定します。ここ	こでは、「設定」を選択します。
↓ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒	年間プログラムをいつ	またさせるのか設定しま	त
N o.3年間タイマ	年については 「毎	ティーロー 日本的な「 年 」 の 選	ッ。 記状ができます
毎年 1月	早に ジャ には、 母目は指定した年の何	ー」、呉祥明る「十」の恩 「月かを選択します。	
	※具体的な「年」	を指定した場合は、実行	後プログラムが自動的に消去さ
	れます。		
♥ ◎ ,>,2			
N o.3年間タイマ 毎年	特殊プログラムで設定	ミしたプログラムをいつ実	行させるか日ごとで設定できま
完了	す。 例:1 月であれ	ば1日~31日まで表示さ	されます。
1月 1日 P03			
Ⅰ月 2日 POI ♣			
↓ (プログラ	ムの設定)	▼ (プログラ	ちんの修正)
↓ (プログラ N o.3年間タイマ 毎年	ムの設定)	▼ (プログラ N o.3年間タイマ 毎年	らしていていていていていていていていていていていています。 しんの修正)
↓ (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ↑	ムの設定) 特殊プログラムを実行した	▼ (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ▲	ムの修正) プログラムの設定を変更する場
↓ (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ↑ 1月 2日 P 0 1	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。	▼ (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ↑ 1月 2日 P 0 1	ムの修正) プログラムの設定を変更する場 合は、変更する日を選択します。
↓ (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ↓	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。	▼ (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ↓	ウムの修正) プログラムの設定を変更する場 合は、変更する日を選択します。
 【プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 1月 2日 P01 1月 3日 ● ② 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。	 (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 1月 2日 P01 1月 3日 ● 	ムの修正) プログラムの設定を変更する場 合は、変更する日を選択します。
 【プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 1月 2日 P01 1月 3日 ● ※定 N o.3年間タイマ 毎年 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を	(プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ↓ ※定 N o.3年間タイマ 毎年 N o.3年間タイマ 毎年	クログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。
 【プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 1月 2日 P01 1月 3日 ● ②定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選	 (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 単 ② N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 	クログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。
 (プログラ No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ↑ 1月 3日 ↓ No.3年間タイマ 毎年 No.3年間タイマ 毎年 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ↑ 1月 1日 P03 ↑ 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ	(プログラ ハ o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ↑ 1月 2日 P 0 1 1月 3日 文定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ↑ 1月 2日 P 0 1	ムの修正) プログラムの設定を変更する場 合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊 プログラムの選択になります。
 【プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 1月 2日 P01 1月 3日 ● ②定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 1月 2日 P01 1月 2日 P01 1月 3日 P02 ● 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。	 (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ● ※定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 2 ● 	よの修正) プログラムの設定を変更する場 合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊 プログラムの選択になります。
I No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 PO3 1月 2日 PO1 1月 3日 ● ● ♀ № No.3年間タイマ 毎年 1月 3日 ● ● ♀ № No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 PO3 1月 2日 PO1 1月 3日 PO2 ● ♀ ♀	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。	(プログラ ハ o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 3日 「 「 1月 3日 「 「 1月 1日 P03 1 「 」 1月 3日 「 1月 1日 P03 1 」 「 1月 2日 P01 」 」 1月 2日 P01 」 「 」 「 」 日 2日 P01 」 』	ムの修正) プログラムの設定を変更する場 合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊 プログラムの選択になります。
 【プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ● 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ● ②定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ● 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 2 ● ②定 N o.3年間タイマ 毎年 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。	 (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ● 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ● ● ② ○ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ● 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 3 ● 1月 3日 P 0 3 ● 1月 3日 P 0 2 ● ○ 	ムの修正) プログラムの設定を変更する場 合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊 プログラムの選択になります。
 「プログラ No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 3日 ● ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 2日 P01 1月 2日 P01 1月 3日 P03 1 1月 3日 P02 ■ No.3年間タイマ 毎年 No.3年間タイマ 毎年 ア02 ■ No.3年間タイマ 毎年 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。 「完了」を選択すると、日 にち毎の特殊プログラム	(プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ● 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ● ※定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ● 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 3 ● 1月 3日 P 0 3 ● 1月 1日 P 0 3 ● 1月 1日 P 0 3 ● 1月 1日 P 0 1 1 1月 1日 P 0 1 1	 ケログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊プログラムの選択になります。 特殊プログラムを変更します。 ※特殊プログラムの設定を解除
 (プログラ No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 3日 ↓ ②定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 2日 P01 1月 3日 P03 1 1月 3日 P02 ↓ ○に No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 3日 P02 ↓ ○に No.3年間タイマ 毎年 完定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。 「完了」を選択すると、日 にち毎の特殊プログラム 設定を終了します。	 (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ▲ 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ● N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 ▲ 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 2 ▲ ○ <	 ムの修正) プログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊 プログラムの選択になります。 特殊プログラムを変更します。 ※特殊プログラムの設定を解除 する場合は「なし」を選択します。
 (プログラ No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 3日 ● (② ○ 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。 「完了」を選択すると、日 にち毎の特殊プログラム 設定を終了します。	 (プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ● N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 2 ● ※定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 1日 P 0 2 ● ※定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 0 1 1月 3日 P 0 2 ● ○ 	 ウログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊プログラムの選択になります。 特殊プログラムを変更します。 ※特殊プログラムの設定を解除する場合は「なし」を選択します。
 【プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ↓ ②定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 2 ↓ ②定 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。 「完了」を選択すると、日 にち毎の特殊プログラム 設定を終了します。	Cプログラ No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 1月 2日 P01 1月 3日 ● ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ● 1月 2日 P01 1月 3日 P02 ● ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P102 ● ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P102 ● ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P102 ● ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P101 ● 1月 2日 P01 1月 2日 P01 1月 2日 P01 1月 3日 P02 ● ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P100 ● ※定	 ムの修正) プログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊 プログラムの選択になります。 特殊プログラムを変更します。 ※特殊プログラムの設定を解除 する場合は「なし」を選択します。
 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。 「完了」を選択すると、日 にち毎の特殊プログラム 設定を終了します。 終了する場合は、「完了」 を選択するか「取消」ボタ	(プログラ No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 3日 ● ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 3日 P02 ↓ ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 Pなし 1 1月 2日 P01 1月 2日 P01 1月 3日 P02 ↓ ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 Pなし 1 月 3日 P02 ↓ ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 Pなし 1 月 3日 P02 ↓ ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 Pなし 1 月 3日 P02 ↓ ※定 No.3年間タイマ 毎年 1月 3日 P02 ↓	 ウログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊プログラムの選択になります。 特殊プログラムを変更します。 *特殊プログラムの設定を解除する場合は「なし」を選択します。 終了する場合は、「完了」を選択してアンドレビスを認知した。
 【プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 3日 ↓ ②定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 3日 P02 ↓ ②定 N o.3年間タイマ 毎年 完了 1月 1日 P03 1月 2日 P01 ↓ ③定 N o.3年間タイマ 四年 完了 1月 1日 P03 1月 2日 P01 ↓ ③定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。 「完了」を選択すると、日 にち毎の特殊プログラム 設定を終了します。 終了する場合は、「完了」 を選択するか「取消」ボタ ンを押していくと現在時刻	(プログラ N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 ● ②定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P 0 3 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 2 ↓ ③定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P なし 1 1月 2日 P 0 1 1月 3日 P 0 2 ↓ ③定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P なし 1 1月 3日 P 0 2 ↓ ③定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 ● ③定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 ● ③定 N o.3年間タイマ 毎年 1月 1日 ● ③ □	 ムの修正) プログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊 プログラムの選択になります。 特殊プログラムを変更します。 **特殊プログラムの設定を解除 する場合は「なし」を選択します。 終了する場合は、「完了」を選択するか「取消」ボタンを押
(プログラ No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ↑ 1月 2日 P01 1月 3日 ↓ ②定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 ↑ 1月 3日 P02 ↓ ②定 No.3年間タイマ 毎年 1月 3日 P02 ↓ ②定 No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1月 2日 P01 ↓ ②定 No.3年間タイマ ④ご No.3年間タイマ 年 1月	ムの設定) 特殊プログラムを実行した い日にちを選択します。 特殊プログラムの番号を 選択します。「停止」を選 択するとその日の全プロ グラムを停止します。 「完了」を選択すると、日 にち毎の特殊プログラム 設定を終了します。 終了する場合は、「完了」 を選択するか「取消」ボタ ンを押していくと現在時刻 表示画面に戻ります。	(プログラ No.3年間タイマ 毎年 1月 1日 P03 1 1月 2日 P01 1月 3日 ● ぶを ぶを べんののののののののののののののののののののののののののののののののの	 ムの修正) プログラムの設定を変更する場合は、変更する日を選択します。 変更する日を選択すると、特殊 プログラムの選択になります。 特殊プログラムを変更します。 **特殊プログラムの設定を解除 する場合は「なし」を選択します。 終了する場合は、「完了」を選択するか「取消」ボタンを押していくと現在時刻表示画面

3-2. 設定の確認



4. 回路全消去 選択した回路のプログラムをすべて消去します。



5. 週間全消去 選択した回路の週間プログラムをすべて消去します。



6. 年間全消去 選択した回路の年間プログラムをすべて消去します。



8. タイマ出力時間設定



4. 繰返しプログラム

P.32 で示した種別選択で「繰返し」を選択したものについての設定説明を行います。

●「繰返しプログラム」は、報時信号を繰返し出力したいときに使用します。
 ■吹鳴時間は、回路ごとに1種類のみ設定できます。

■同一回路の中では「報時プログラム」「チャイムプログラム」「タイマプログラム」との複合指定 はできません。



繰返しメニューの表示

N o.□繰返し	プログ	ラム設定
週間プログラム	P.84~88	││ 「繰返し」を設定した「回路プログラム設定」ボタンを押します。
回路全消去	P.89	液晶画面に各項目が表示されます。
週間全消去	P.89	<u>}</u>
出力時間設定	P.90	週間全消去」については、「週間プログラム」を設定しなければ表示さ
プログラム残量数表示	P.91 N	ません。

1.週間プログラム

1-1.曜日指定での設定



1-2.「毎日」「平日」の設定



85

1-3. 設定したプログラムの修正



1-4. 設定したプログラムの消去



1-5. 各曜日の全消去





3. 週間全消去 選択した回路の週間プログラムをすべて消去します。



4. 出力時間設定

N o.4繰返し	プログラム設定
回路全消去 🔒 🕇	│
週間全消去	│ 「 出力時間設定 」 を選択します。
出力時間設定	
↓ O _{決定}	
N o.4 出力時間	P 32 の種別選択で設定した設定値が表示されます
01 <mark>秒幅</mark>	
	設定後、「決定」ホタンで設定の完了を示すノサー音か鳴ります。
+	1
N o.4繰返し	
週間プログラム	終了する場合は、「取消」ボタンを押すと現在時刻表示画面に戻ります。
回路全消去	
週間全消去 🛛 👢	

プログラム残量表示

設定できるプログラム数には上限があります。現在どれくらい設定しているか確認できます。 「報時プログラム」、「チャイムプログラム」、「タイマプログラム」、「繰返しプログラム」のどの種類の プログラムでも確認することができます。

●週間プログラムの設定数

「報時プログラム」、「チャイムプログラム」、「タイマプログラム」、「繰返しプログラム」4種類のプログラムの「週間プログラム」、「特殊プログラム」の設定数が、8回路合計で最大 500 個です。

・○曜日で設定すると、設定数は1個です。

・平日で設定すると、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜が設定されるため設定数は5個です。

・毎日で設定すると、日曜、月曜、火曜、水曜、木曜、金曜、土曜が設定されるため設定数は7個です。 ●年間プログラムの設定数

「報時プログラム」、「チャイムプログラム」、「タイマプログラム」の3種類のプログラムの「年間プログラム」の設定数が、8回路合計で最大 500 個です。

・1日設定すると、設定数は1個です。ただし、「毎年」設定以外のプログラムは、実行が終了する と自動的に登録したプログラムが消去されます。



種別選択(P.32参照)されていれば、1~8回路のどの「回路プログラム設定ボ タン」でも確認できます。

「プログラム残量数表示」を選択します。

表示は、週間プログラム(特殊プログラム含む)を保存できる空プログラム数、 年間プログラムを保存できる空プログラム数が確認できます。

今日のプログラムの確認



子時計信号 (30 秒有極信号) の信号幅の変更

●通常は「0.5秒」の幅で子時計を送出します。

●信号幅の変更は制御部のプリント基板上で設定します。

●注意

信号幅の変更は、電源(AC・DC)を必ず"OFF"にしてから行ってください。 信号幅「0.5秒」を「1秒」または「2秒」に変更した場合、電池による停電時動作時間が短くなります。

メモリ用バックアップ電池

●異常な動作や表示をしたとき

電源(AC・DC)を"OFF"、メモリ用スイッチを"OFF"にして約3分後再開します。

◆設定した時刻はリセットされます。

週間プログラム、特殊プログラムおよび年間プログラムの設定、電波修正時刻、サマータイムの設定時刻は バックアップされています。

1 秒子時計の設定 (オプション)

●1秒子時計回線がある場合、制御部の設定を変更します。

- ●使用時は必ず "E" にして使用します。
- ●【注意】

1秒子時計の設定の変更は、電源(AC・DC)を必ず"OFF"にしてから行ってください。

デジタル信号出力(オプション)

●カード式8回路プログラム付水晶式親時計には、デジタル信号出力機能を追加することができます。
 ●デジタル信号出力部は、デジタル子時計用の時刻信号を1秒ごとにシリアル出力します。

時刻信号	年・月・日・曜日・時・分・秒
ポーレート	9600bit/sec固定
出力電圧	DC24V
出力容量	360mA

外部同期式 (オプション)

●外部同期式プログラムタイマ(外部の親時計に同期)には、3種類の同期モードがあります。

■ J1 · · · 1 秒同期式

外部親時計の1秒有極信号に同期します。

信号が入力されていないと、秒カウンタが停止します。

■ J2 · · · 30 秒同期式

外部親時計の30秒有極信号に同期します。

信号が入力されていないと、29秒または59秒で秒カウンタが停止します。

- (注意)子時計信号の信号幅を2秒幅で使用する場合は、外部の親時計の30秒有極信号の信号幅 も2秒幅に設定してください。
- J3 · · · 30 秒規正式
- 1日に2回(7:30、19:30)外部の親時計の30秒有極信号に同期します。

外部親時計とプログラムタイマの時刻差が、±30秒以内でないと同期しません。

また、外部親時計の信号が入力されなくても、内部クオーツの精度 (0.7 秒以内) で通常運転します。 ●同期モードの変更

■同期モードの変更は規正信号部 (SUG-295A) のヘッダー位置を変更します。

(注意)同期モードの変更は電源(AC、DC)を必ず「OFF」にしてから行ってください。

この操作通りに行わないと変更されません。

★オプションは、「外部規正式」、「1秒同期式」、「30秒同期式」の中から1つを使用できます。 複数を使用することはできません。

	H2 H1 0 0
SUG-295A	J1 ・・ 1秒 J2 ・・ 30秒 J3 ・・ 規正

停電時の動作と停電復帰後の動作

- ●停電時動作時間
 - ◆子時計回線、1回線~4回線まですべて30時間です。
 - ◆デジタル時計(日付と時刻)とタイマメモリ部は約20日間です。
 - ◆停電時は報時信号と内蔵電子チャイム、電波修正(ラジオコントロール付)は動作しません。
- 30時間以内の停電
 - ◆子時計回線、デジタル時計、液晶画面およびタイマメモリ部は正しく動作します。
 - ◆ AC 電源モニタが消灯し、液晶画面には [電池] 表示が出ます。
 - ◆タイマ出力回路は、8回路とも " 断 " になります。
 - ◆停電が復帰すると、時刻表示部の[電池]表示は消えて通常運転に戻ります。 タイマ出力回路はプログラムに従った出力となります。
- 30時間以上の20日以内の停電
 - ◆子時計回線とタイマ出力回路は、"断"になり、液晶画面も消えます。
 - ◆デジタル時計とタイマメモリ部は正しく動作しています。
 - ◆停電が復帰すると、時刻表示部に現在時刻が表示され、タイマ出力回路はプログラムに従った出力と なります。
 - ◆子時計は、一斉停止装置により同じ時刻で停止します。
 - 停電復帰後、自動で子時計一斉調針が行われ、調針後は通常の運転に戻ります。
- 20 日以上の停電
 - ◆子時計回線、デジタル時計、液晶画面およびタイマメモリ部を含むすべてが停止します。
 - ◆停電が復帰すると、液晶モニタは点滅した電源投入時の初期状態になります。
 - 「日付・時計の合わせ方」P.9~16を参照してください。
 - ◆子時計回線は一斉停止装置により同じ時刻で停止します。 停電の復帰に伴い、通常通り動き始めます。 「日付・時計の合わせ方」P.9 ~ 16 を参照してください。
 - ◆プログラムメモリはすべて保持されています。 週間プログラム、特殊プログラムおよび年間プログラム、電波修正時刻、サマータイムの設定時刻は再 設定する必要はありません。

電池の適正な交換

●停電時動作ニッケルカドミウム蓄電池は、停電の回数や停電時間によって寿命は変化します。 停電動作時間が短くなった場合や5年以上使用した場合には、早めに同規格の新しいニッケルカドミウム蓄電池に交換してください。

型名	電池型名	電源部の電池設定
PT (プログラムタイマ)	KRO.6AA-20	J1=0.5Ah
LU (子時計増設ユニット)	KR1.2SC-20	J1=1.2Ah

故障かなと思ったら

●AC電源が正常かどうか確認してから、下記の処置を行ってください。

故障内容	確認事項	原因	対策
	LCDモニタも無表示 ※本体内部の電源(AC)用 LEDが消えている	電源ヒューズが切れて いる	ヒューズを交換する
子時計が停止している	LCDモニタは表示 ※信号送出時、回線異常LED が点灯する	子時計回路の配線のショ ートによる故障	時計回路の配線をチェッ クし、障害を除く
	LCDモニタは表示 ※子時計アイコンが点滅して いる	全回線スイッチが "断" に なっている	子時計の時刻合わせの 操作を行い、スイッチ を "常" にする
すべての時分針は合って いるが時計はずれている	長時間の停電があったか	長時間の停電で電池電圧 が下がり、信号電圧検出 が働き、一時的に時計が 止まった。	時計の運転方法にしたが って再調整する
特定の回線の時計だけが 止まる	信号送出時、回線異常警報LED が点灯する	子時計回線の配線の ショートによる故障	子時計回線の配線をチェ ックし、障害を除く
LCDのモニタに[電池]の	[停電]している	[停電中]ならば正常	[停電]を復帰させる
表示がある	[停電]していない	AC電源スイッチが入って いない	AC電源スイッチを[ON] にする
AC電源LEDモニタ(緑色) が消灯している		AC電源ヒューズが切れて いる	ヒューズを交換する
ラジオコントロール付き なのに現在時刻がずれる	ラジオの受信状態を確認する	[正常]でなければ受信に 問題がある	配線、接続をチェックし、 受信状態を再調整する
停電中でもLCDモニタに [電池]の表示が出ない	DC電源スイッチが入っていな い		DC電源スイッチを[ON] にする
	DC電源スイッチが入っている	DC電源ヒューズが切れて いる	ヒューズを交換する
サマータイム修正時に子 時計の時刻がずれてしま う			
- 「 停電復帰後の自動調針で 子時計の時刻がずれた	_	子時計時刻(デジタル)と回 線の子時計および回線モニ タの時刻が違っていた	日付、時刻の合わせ方 (P.9~16)に従い時刻を 合わせます
長波修正時に子時計の時 刻がずれる			
ボタン操作がきかない	液晶画面で子時計アイコン、太 陽アイコンが点滅している またはアンテナアイコンが点灯 している。	子時計の修正中またはサ マータイム修正中、電波 修正中である	修正動作が終わるまで待 つか強制的に修正動作を 解除する 強制的に子時計およびサ マータイム修正動作を解 除した場合は、子時計の 時刻合わせの操作を再度 行う

取付、配線工事上の注意

- ●設置場所について
 - ■日光の直射を受けず、振動やほこりが少なく 湿度の低い場所に設置してください。
- ●扉の開閉について

■右図の中央部の把手を手前に引くと、扉は上に開きます。

●取付について

■まず取付箇所の強度が時計の質量に対して十分であるか確認してください。

- ■上部2カ所の取付穴に木ネジ(φ 8mm、長さ 50mm 以上のもの) で確実に取り付け、中央の孔で 振れ止めをします。コンクリートの壁の場合はウォールアンカーなどをご使用ください。
- ■アウトレットボックスの塗代カバーにボディービスで取り付けることは強度に問題がありますので、 絶対にしないでください。
- ●電源について

■ AC100V の入力電源は消灯されることのない、常夜灯回路を使用してください。

●子時計の接続について

■子時計配線は、時計の極性識別のため色分けをしてください。

- ■線路の接続、分岐は必ずボックス内で確実に圧着してください。
- ●接地 (アース) について
 - ■この親時計に組み込まれているサージアブソーバ(異常電圧吸収器:避雷器ではありません)の効果 を発揮させるため、必ず設置工事をしてください。

■接地工事をすることにより時計の対雑音対策は向上しますが、安易に他の電力機器と共通のフレーム グランドを行った場合は、その電力機器の干渉により時計の精度に悪影響を与えることもありますの で注意してください。

- ●絶縁試験について
 - ■親時計に接続されるラインの絶縁試験は、まず電源を OFF にして、配線を子時計端子より切り離し て行ってください。接続したまま絶縁試験を行うと、親時計が破損します。

MVVS 12/0.18mm 4芯

PT-61Tシリーズ仕様

部 門	項目	内容		
	水晶発振周波数	4194.304kHz		
	精度	週差± 0.7 秒以内		
		0°C~+ 40°C		
		-10°C~+ 50°C		
	時刻表示	30 秒間欠運針		
		キー及びジョグダイヤルにより年、月、日		
	ロ内・時刻音わせ	時、分、秒合わせ		
		DC24V30 秒有極式		
	于時計凹線出力信方	過電流防止、及びサージアブソーバー付		
	子時計出力回線数	1 回線		
血	子時計駆動数	1 回線当り最大 30 個(1 個 12mA)		
市	子時計修正	自動早送り方式(異常パルス幅発生防止装置付)		
□□□	サマータイム機能	キー及びジョグダイヤルにより設定		
		ただしサマータイムの修正は自動		
	信号電圧検知装置	信号電圧降下時一斉停止装置付		
	入力電源	AC100V ± 10% 50 / 60 H z 最大 20W		
	停電時電源	密閉型ニッケルカドミウム蓄電池 (DC24V)内装		
	電池保護	過放電防止装置付		
	停電時動作時間	子時計駆動 約 30 時間、子時計 30 個		
		時刻カウント 約 20 日間(停電復帰後、自動修正)		
		プログラムタイマメモリ部 約10年		
	ケース	鋼板製		
	仕上色	クリーム色(2.5 Y 9/1)仕上 ツヤ5		
	質量	約 5.5kg		
	制御方式	CPU 使用 全電子式		
年	出力回路	独立8回路 設定出力(メイク接点)		
間	出力動作切換	各回路ごとに手動切換可能(自動,断,手動)		
プ	負荷容量	接点容量 AC250 V 5 A 抵抗負荷		
		最小適用負荷 DC5V 1 m A		
グ	 プログラムの種類	週間プログラム、年間プログラム		
>		99 種類の特殊設定が可能		
4	8 回路合計 500 動作 出力動作数 ただし1回路に 500 動作全部の設定も可能			
9				
1		(タイマ設定は ON、OFF 合わせて 1000 設定)		
 ₹	設定方式	キー及びンヨクダイヤルにより設定		
装	却吐山力	ハソコン及びコンハクトノフッンュメモリーによる設定も可能		
置	牧吁出力	后 5 幅 沙平12 ぐ 炒から 59 炒よぐり変		
	ダイマ出刀	設定時刻から設定時刻まで継続		
	時刻表示	年,月,日,曜日,時,分,杪,デジタル LCD 表示		

部 門	項目	内容
長波受信(受信周波数	長波帯標準電波40KHz/60KHz(自動切換方式)
	受信感度	
		専用アンテア・クーノルは別述必9 該直のこと
(3)	时刻修正凹数 亚/=///	
	文信儀	
ラ ジ	受信周波数範囲	FM:/6.0~ 90.0MHz(100KHz 简隔)
축		IV:ICh~I2Ch(音声周波数 95./5MHz~221./5MHz) 電用決定 40-ID(作 0.05 m)((m)) IV I
ピ	受信感度	
ト		アンテナ・ケーフルは別途必す設置のこと(75 Ω)
	時刻修正範囲	正時に対し± 30 秒
	時刻修正回数	1 日 2 回(7 時, 19 時 ただし時刻は変更可能)
(R)	同調方式	電子チューニング方式(PLL 方式)
	選局	ロータリースイッチで設定
	チャイム	電子式 FM 音源
Ŧ	曲目	1. ウェストミンスター寺院の鐘 2. ホイッティングトン寺院の鐘
1		3.王の行進 4.銀波 5.田園 6.ふるさと(故郷) 7.家路
1	選曲	設定時刻ごとに曲目の指定が可能
(C)	出力	インピーダンス 10 KΩ- 25dB ± 3dB
	アンプ投入	1回路接点メーク信号(接点容量 AC250V 5A 抵抗負荷)
塔田	寺計回線(M)	塔時計モニタ、返り信号で駆動
1 禿	少子時計回線	最大 2 回線 1 回線 30 個(12mA)
外	A	常時は単独で動作
部	%前税止式	1日2回(7時、19時)外部親時計の子時計信号に同期
同	30 秒同期式	外部親時計の 30 秒信号に同期
期	1秒同期式	親時計からの1秒信号に同期
デジ	ジタル時計信号(D)	デジタル子時計用の時計信号
LU シリーズ仕様

項目		内 容										
		子時計回線数										
			2 回線 (62P)	3 回線 (63P)	4 回線 (64P)							
入力信号		子時計回線拡張信号、0.5、1、30秒 タイミング信号1秒										
使用温度範囲		-10°C~ +50°C										
時刻表示		30 秒間欠運針										
子時計回線出力信号		DC24V 無接点 30 秒有極 過電流防止およびサージアブソーバ付										
子時計駆動数(最大)			60 個	90 個	120 個							
		1個12mAとして										
子時計修正		自動早送り方式(異常パルス幅発生防止装置付)										
信号電圧検知装置		信号電圧降下時一斉停止装置付										
入力電源		AC100V 7 10%50/60Hz										
			最大 28W	最大 36W	最大 45W							
停電時電源		密閉型ニッケルカドミウム蓄電池(DC24V)内蔵										
電池保護		過放電防止装置付										
停電時動作時間		約 30 時間										
ケース		鋼板製										
仕上色		クリーム色(2.5 Y 9/1) ツヤ5 文字黒色印刷										
PE PE		約 6kg										
貝里	PB	約 7.5kg										

さくいん

あ

$\mathcal{P}-\mathcal{A}\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\mathbf{P}.99$
1秒子時計・・・・・・・・・・P.16、P.94
液晶モニタ・・・・・・・・・・・・・・P.5
AC 電源・・・・・・・・・・・・・・P.8
AC 電源モニタ・・・・・・・・・・・P.8

か

回線異常警報 (LED)・・・・・・・・・・・P.13
外部チャイム・・・・・・・・・・・・・P.50
外部同期式・・・・・・・・・・・・・・P.95
回路出力操作スイッチ・・・・・・・・・P.26
回路プログラム設定ボタン・・・・・・・・P.30
型式銘板・・・・・・・・・・・・・・・P.1
繰り返しプログラム・・・・・・・ P.83 ~ 90
繰り返し週間プログラム・・・・・・ P.84 ~ 88
繰り返しプログラム消去・・・・・・・・P.89
子時計回線・・・・・・・・・・・ P.10~16
子時計出力操作スイッチ・・・・・・ P.10~16

さ

$\forall \nabla - \varphi \uparrow \Delta \cdot P.17 \sim 19$
時報確認用 LED・・・・・・・・・・P.21
出力モニタ・・・・・・・・・・・・・・P.30
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・ P.104 \sim 106
主モニタ・・・・・・・・・・・P.11、P.17
絶縁試験・・・・・・・・・・・・・・P.99
接地・・・・・・・・・・・・・・P.99
選局用ロータリースイッチ・・・・・・・P.21

た

タイマプログラム・・・・・・・・ P.67 ~ 82
タイマ週間プログラム・・・・・・・ P.68 ~ 72
タイマ特殊プログラム・・・・・・・ P.73 ~ 77
タイマ年間プログラム・・・・・・・ P.78 ~ 79
タイマプログラム消去・・・・・・・ P.80 ~ 81
チャイム出力ボリューム・・・・・・・・・P.28
チャイム曲目の変更・・・・・・・・・・・P.27
チャイムテスト起動スイッチ・・・・・・・P.28
チャイムテスト選局ロータリー・・・・・・P.28
チャイムプログラム・・・・・・・・ P.50 ~ 66
チャイム週間プログラム・・・・・・ P.51 ~ 55
チャイム特殊プログラム・・・・・・ P.56 ~ 61
チャイム年間プログラム・・・・・・ P.62 ~ 63
チャイムプログラム消去・・・・・・ P.64 ~ 65

DC 電源・・・・・・・・・・・・・・・・・P.8
停電時動作時間・・・・・・・・・・・・P.96
デジタル信号出力・・・・・・・・・・・P.94
電波修正アンテナ (長波受信機付)・・・P.25、102
電波修正アンテナ(ラジコン付)・・・・P.21、102
電波修正 (長波受信機付)・・・・・・P.23 ~ 25
電波修正 (ラジコン付)・・・・・・・P.20 ~ 22
取付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.99

な

内蔵スピーカー・・・・・・・・・・・P.21、28 内蔵電子チャイム・・・・P.26 ~ 28、P.50、P.102 ニッケルカドミウム蓄電池・・・・・・・・P.97

は

報時プ	ログラ	ム・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.33	\sim 2	19
報時週	間プロ	グラ	ム	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.34	~ 3	38
報時特	殊プロ	グラ	ム	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.39	\sim 2	14
報時年	間プロ	グラ	ム	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.45	\sim 2	46
報時プ	ログラ	ム消	去	•	•	•	•	•	•	•	•	•	P.47	\sim 2	48

ま

メモリ用バックアップ電池・・・・・・・P.93
モード設定用ロータリースイッチ・・・・・ P.21
モニタスピーカスイッチ・・・・・・P.21、28

シチズンTIC株式会社

■本社工場

〒184-0013 東京都小金井市前原町5丁目6番12号 (本 社・営業本部) TEL.042(386)2261(代) FAX.042(386)2222 (生産本部・設計本部) TEL.042(383)2221(代) FAX.042(387)7864

■支店・営業所

〒184-0013 小金井市前原町5丁目6番12号 TEL.042(386)2261(代) FAX.042(386)2222 〒465-0093 名古屋市名東区一社4丁目179番地 TEL.052(701)8291(代) FAX.052(701)8401 〒536-0023 大阪市城東区東中浜8丁目3番20号 TEL.06(6961)8663(代) FAX.06(6961)8680 〒810-0014 福岡市中央区平尾1丁目8番24号 TEL.092(521)1300(代) FAX.092(521)1400 〒060-0806 札幌市北区北14条西2丁目6番地 TEL.011(746)3855(代) FAX.011(709)4465 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目1番46号 TEL.022(212)5162(代) FAX.022(212)5163 〒730-0013 広島市中区八丁堀12番9号 TEL.082(228)6721(代) FAX.082(227)9157

ホームページアドレス http://www.tic-citizen.co.jp

